
2016年8月2日（火）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol.17

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2016年7月）
- 2 特集 2016年3月期定時株主総会を日程で振り返る（前編）
- 3 ワンポイント開示会計問題演習 「継続企業の前提に関する事項」
- 4 児玉厚の開示川柳「ROE 財務レバレッジは 孫社長！」
- 5 編集後記

—【PR】—

スリー・シー・コンサルティングの有価証券報告書等チェックリスト
開示書類の訂正防止にこの1冊
<http://www.3cc.co.jp/kaiji/checklist.php>

-
- 1 会計ニュースダイジェスト（2016年7月）
-

- 1) ASBJ、「修正国際基準」を改正（7月25日）
（修正国際基準：国際会計基準と企業会計基準委員会による
修正会計基準によって構成される会計基準）

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/endorsement/jmis/20160725.shtml

（「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」改訂（7月26日））

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/plan/

- 2) IASB、ワークプランを刷新（7月20日）

<http://www.ifrs.org/Current-Projects/IASB-Projects/Pages/IASB-Work-Plan.aspx>

- 3) 東証、「会計基準の選択に関する基本的な考え方」の開示内容の
分析結果を公表（7月20日）

<http://www.jpx.co.jp/news/1020/20160720-01.html>

- 4) 国税庁、税務に関するコーポレートガバナンスの充実に向けた取組を促進

(7月15日)

<http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinkoku/hojin/sanko/cg.htm>

5) IFRS 財団モニタリング・ボード議長が氷見野良三氏に交代 (7月13日)
(氷見野良三: 金融庁金融国際審議官)

<http://www.fsa.go.jp/inter/etc/20160713-2.html>

6) 金融庁、IFRSに基づく四半期連結財務諸表の開示例を改訂 (7月8日)

<http://www.fsa.go.jp/news/28/sonota/20160708-1.html>

7) 東証、上場会社役員向けeラーニング講座を無料化 (7月4日)

<http://www.jpx.co.jp/news/1024/20160704-01.html>

— 【PR】 —

「財務報告実務検定・連結実務演習編」
連結決算・連結開示・XBRLの総合力を判定 TAC 講座開講！
<http://zaimuhokoku.jp/>

2 特集 2016年3月期定時株主総会を日程で振り返る (前編)

今年も6月に多くの会社が株主総会を開催しました。

3月決算会社はコーポレートガバナンス・コード (2015年6月1日適用開始) を受け入れてから最初の定時株主総会だったかと思われます。

同コードでは株主との建設的な対話を促進するため、招集通知及び添付書類を発送前にWeb上に開示することや、株主総会開催日等の日程の適切な設定を求めています。

また、日本公認会計士協会が2015年11月4日に公表した「開示・監査制度の在り方に関する提言」では、会社法と金融商品取引法の監査の実質一元化 (それに伴う会社法監査期間の延長と有報提出の前倒し) や議案検討期間の確保 (それに伴う株主総会開催日の後ろ倒し) 等を提言しております。

こうした動きに対して会社は株主総会に関する日程をどの程度変更したのか。2016年3月31日決算の全上場会社*を対象に調査し、昨年と比較しました。

* : 2016年5月31日までに決算発表した会社に限る

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

3 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

5 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による
「開示川柳」をお届けしております。

「 ROE 財務レバレッジは 孫社長！ 」

コーポレートガバナンス・コードが全上場会社に適用された。

目的は「持続的成長」だ。

投資家にとっての最大の関心事は、
「どの様にして持続的成長を図るか？」だ。

「中期経営計画」の説明責任は非常に重くなり、
実質公約化されている。

投資家が関心を寄せる経営指標は ROE だ。

「中期経営計画」の目標に ROE を掲げる上場企業が急増している。

ROE は「自己資本利益率」。

ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100%

さらに分解すると、

ROE = 【1】（当期純利益/売上高） × 【2】（売上高/総資産）
× 【3】（総資産/自己資本） × 100%

= 【1】「売上高純利益率」 × 【2】「総資産回転率」
× 【3】「財務レバレッジ」 × 100%

【1】「売上高純利益率」は、売上高に対する
配当原資となる処分可能利益の割合を示す。
「事業の収益性」を示す。

「売上高純利益率を上げると ROE が上がる」

【2】「総資産回転率」は、企業の総資産額が、1年に何回売上高という形で回転したのかを示す。「資産の売上高貢献度」を示す。

「総資産回転率を上げると ROE が上がる」

【3】「財務レバレッジ」は、銀行借入や社債発行などをテコ（レバレッジ）として使い、自己資本に対して何倍の資産を作ったか、または事業規模を拡大したかを示す指標。負債の有効利用度を示す。

「財務レバレッジを上げると ROE が上がる」

どうもこの意味が釈然としなかった。

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

6 編集後記

*メルマガ読者にのみ公開しています。

メルマガの登録変更及び購読解除について

当メルマガの登録情報のご変更や購読解除をご希望の方は、以下のアドレスより手続きをお願いします。

（登録情報のご変更）

<https://11ejend.com/stepmail/edit.php?no=xxzzkh>

（購読解除）

<https://11ejend.com/stepmail/delf.php?no=101100>

メルマガの記載内容等に関するお問い合わせ

当メルマガの記載内容等に関するお問い合わせがございましたら、以下のメールアドレス又は電話番号よりご連絡願います。

kaijikaikei@3cc.co.jp

TEL : 03-6863-7208（担当：ディスクロージャーサービス戦略室）

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.